

のびのび通信 第68号

2011年12月

陶芸はお手のもの



11月は、学校行事などと重なったためお休みにしましたが、12月に久しぶりにみんなの元気な顔を見ることができました。ちょっと会わないだけでも、背がグングン伸びて、その成長を感じます。もちろん、社会性もドンドン伸びています。今回の活動は、「陶芸」。何回体験しても、そのたびに新しい発見があって、楽しい活動のひとつです。

焼き上がりが、待ち遠しいな～



粘土が、器やマグカップに変身します。今回、初めて参加する人は、先生から作り方の説明を聞いて、自分の作りたいものをしっかりイメージします。なかなかイメージどおりに作れないものですが、先生のアドバイスでとってもいい作品になっていきます。



慣れている人は、最初から自分が作るものを考えて参加しているので、どんどん作っていきます。それが、年を追うごとにパワーアップしていくのが、見ている方もワクワクしますね。^^

ところで、この陶芸。難点がひとつだけあるんです。

それは、その日のうちに完成しないこと！

初めて参加したときは、「どうして、持って帰れないの？」とか「先生に預けたら、いつできあがるの？」と質問攻めでした。今でも初参加の子ども達からは同じ反応がありますが、経験のある子は、先生に、「お願いしま～す」と安心して預けていました。でも、やっぱり、出来上がりは、楽しみです。

こんな光景も・・・

陶芸づくりにかかる時間は、人それぞれ。早く終わる人もいれば、じっくり作る人もいます。早く終わった人が、まだ作っている人の邪魔にならないようにすることも、大切なんです。今回は、年上の子が年下の子の要望に応じて、絵本を読んでくれました^^

兄弟じゃないんですよ。仲間っていいですよ～



2011年は、日本全国でいろんなことがあった一年でした。暗いニュースが多かったのですが、年末に、ホットニュースが飛び込んできました。なんと、発達障害児支援サークル「のびのび」の活動が、内閣府の「チャイルド・ユースサポート章」として表彰されました。子ども達の笑顔を見たいという親の思いからスタートした活動が、全国で評価されるなんて！表彰状は、蓮舂大臣からでした。



発行：発達障害児支援サークル「のびのび」